

ID series 室内ドア



取扱い説明書

ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度(または事故の大きさ)によって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

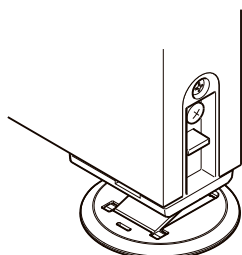
用語	意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

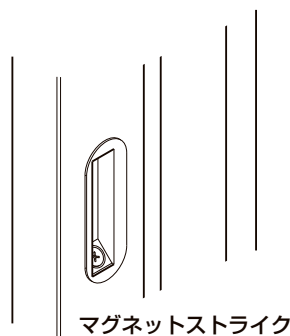
(安全のために必ずお守りください)

⚠ 注 意

- ドアストッパーやマグネットストライクから30cm以上離れて操作および使用してください。
心臓ペースメーカーを装着されている方は、接近して操作されると誤作動をまねくおそれがあります。
その他医用電子機器類に関しても影響を与える場合があります。各機器メーカーまたは販売者にご確認ください。

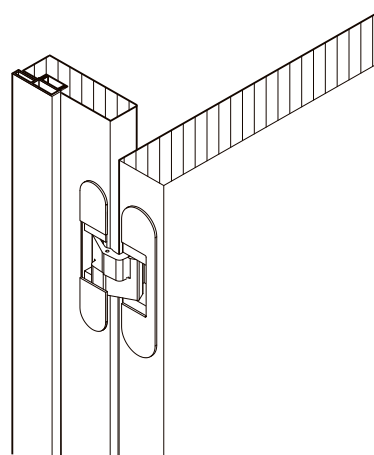


ドアストッパー



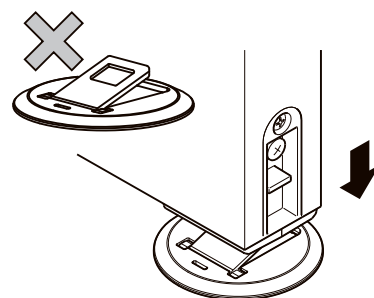
マグネットストライク

- 本体の開閉操作時にすき間が発生します。このすき間に指を挟み本体を閉めると大きなケガにつながるおそれがあります。
乳幼児が開閉を行わないよう、また、乳幼児が近くにいる時の開閉には十分にご注意ください。



⚠ 注 意

- 床付け部品のフラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。
思わぬケガをするおそれがあります。
- 扉を開放しておくときは、必ずロックレバーを下げて扉を固定してください。
扉が強風で強く閉まり思わぬケガをするおそれがあります。



お願い

- 暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。ソリや変色などの原因になります。

- 製品に水・油・殺虫剤・除光液・化粧品・整髪料・毛染め剤・脱色剤・うがい薬・漂白剤・除菌クリーナー・紅茶、その他の酸性/アルカリ性の液体などがかった場合は、すぐに拭き取ってください。放置すると、表面がふくれたり、シミ・変色が発生したり臭いが残ったりするおそれがあります。



- 刃物など先のとがったものや硬いものでひっかかないでください。キズが付きます。

- 扉にテープやシールなどを張らないでください。表面が傷むおそれがあります。



- ガラスを使用している製品につきましては物が当たったり、人がぶつかると割れてケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



- ガラスはキズつけないように取扱ってください。
- 金属タワシ・研磨剤入り洗剤などはガラスをキズつける原因になります。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞って拭き取ってください。また、乾いた柔らかい布でから拭きをしてください。



お手入れ方法

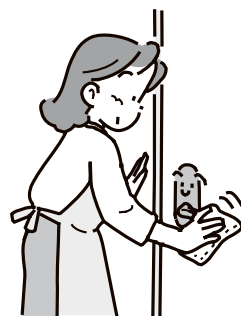
建具の表面など(木目・ガラス・樹脂部品など)

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布または化学ぞうきんでから拭きしてください。
- ※ 溝加工デザインの溝部は、表面を損傷させたりするおそれがありますので、水拭きはしないでください。
- ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんで拭き取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジン)などは絶対に使用しないでください。
- ゴミがたまらないよう、レールの溝はこまめにお掃除をしてください。扉レールの溝にゴミがたまりますと、扉の滑らかな走行のさまたげとなり、故障の原因となります。掃除機などでこまめに掃除してください。



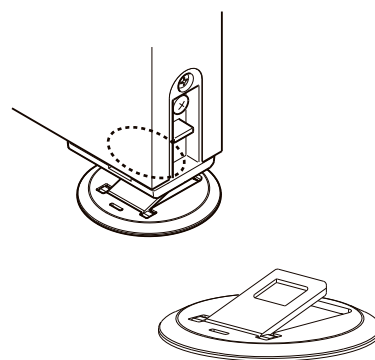
把手・つまみ

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布または化学ぞうきんでから拭きしてください。
 - ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんで拭き取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対使用しないでください。表面の塗料が落ちるおそれがあります。
 - シリンダー錠、デッドロック錠のキーの抜き差しや回転操作が悪くなった場合は、鉛筆（柔らかい芯）の粉や黒鉛粉またはシリンダー錠専用潤滑剤を使用してください。鉛筆を使用する場合は、キーの切込み面を鉛筆でなぞったあと、キーで抜き差しを数回行ってください。
- ※鍵穴には絶対に油を注さないでください。注入直後は動きが良くても、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。
- 把手・つまみがゆるんでガタつく場合は、手回しドライバーで固定ねじを締め直してください。



マグネットストッパー

- マグネット部に異物が付着している場合は取り除いてください。磁力が低下して、ストッパーが作動しないことがあります。
- ストッパー、ガイドピンのまわりは定期的に掃除機をかけてください。ゴミやほこりによって動きが悪くなり本体にかからなくなることがあります。
- 引っかかったゴミやホコリはストッパー、ピンを引き上げて取り除いてください。掃除機でむりにこするとキズの原因になります。
- ジュースなどの液体をこぼした場合は、ストッパー、ピンを引き上げて濡れた布で拭き、よく乾かしてください。
- 床へワックスや洗剤を使用する場合はストッパー、ガイドピン内にはいり込まないようにしてください。固着により動きが悪くなり本体にかからなくなることがあります。

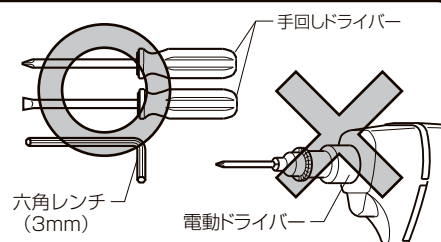


調整方法について

- ご使用の間、納まりに関して不都合が生じた場合は、以下の要領で調整を行ってください。

お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとすると扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店または、LIXIL修理受付センターまでご相談ください。
- 建付け調整は必ず、手回しドライバー(+/-)、六角レンチを使用してください。電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

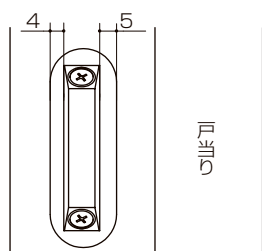


- 調整方法を予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

ストライクによる建付け調整

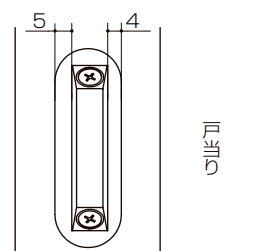
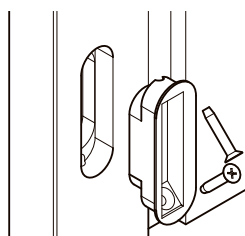
■工場出荷時の状態

戸当り側が5mmとなっています。



■ドアを閉めた時にガタつく場合

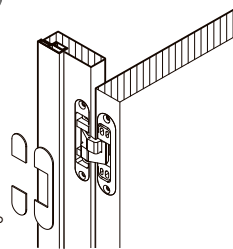
ねじを緩め、一旦、ストライクを外して、上下逆にして、戸当り側が4mmとなるようにストライクを取付けてください。



丁番による建付け調整

丁番の固定ねじ、調整ねじは回し過ぎると外れたり、破損する場合がありますので、ご注意ください。

■調整の前に
丁番カバーを
外してください。

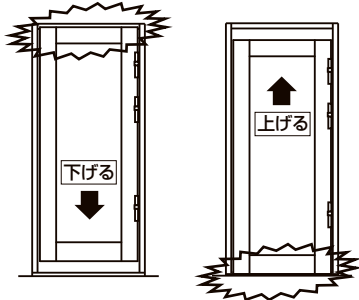


ドア建付け
調整方法
動画



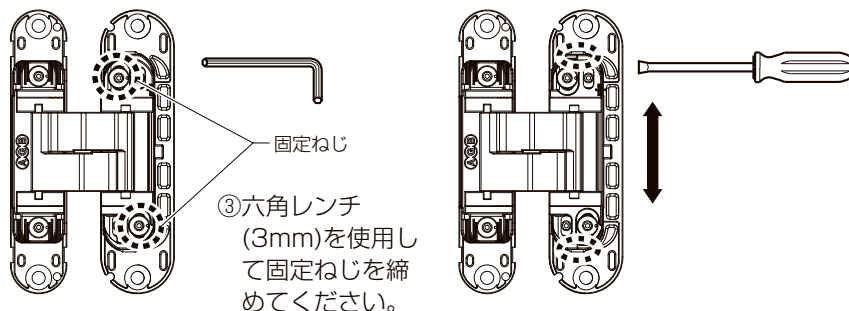
事象例

- 扉の上部が
枠に当たる。
- 扉の下部が
枠に当たる。



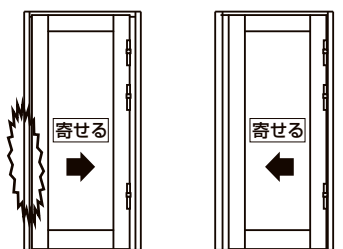
上下調整方法(調整範囲：±2mm)

- ①六角レンチ(3mm)を使用して
固定ねじを緩めてください。
- ②マイナスドライバーを使用
して上下に調整してください。



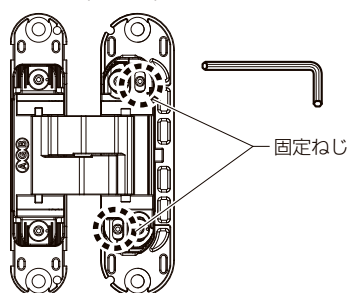
事象例

- 扉の戸先側が
枠に当たる。
- 扉の戸先側の
すき間が大きすぎる。



左右調整方法(調整範囲：±1.5mm)

- ①六角レンチ(3mm)を使用して
調整ねじを回してください。



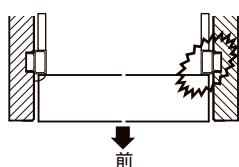
- ➡ (右回り)
本体が戸尻側に寄ります。
- ➡ (左回り)
本体が戸先側に寄ります。

事象例

- 戸先側の縦枠が前に出ている

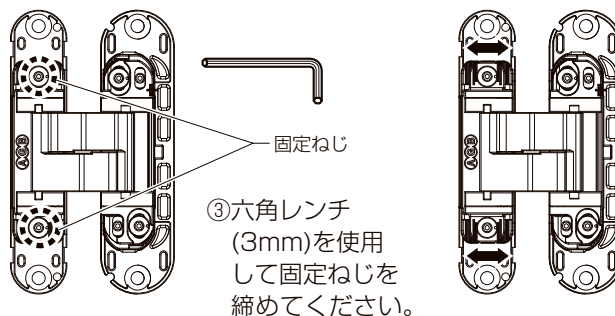


- 本体が戸当りに当たる



前後調整方法(調整範囲：±1mm)

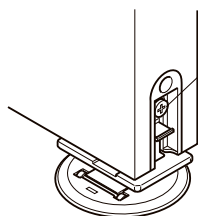
- ①六角レンチ(3mm)を使用して
固定ねじを緩めてください。
- ②前後に調整してください。



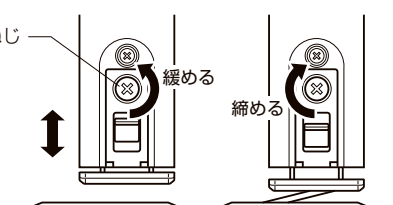
室内ドア (みえナイゾウドアストッパー) / 上下調整によるストッパーかかり調整

お願い

- ドアストッパー
を調整する前
に、丁番でドア
本体の建付け調
整を行ってくだ
さい。



ストッパーが掛からないときは、高さ調整ねじをゆるめて
ストッパーが掛かる位置まで部品を上下させて、再度ねじ
を締めなおしてください。



ラシッサ
みえナイゾウ
ドアストッパー
調整方法動画



アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又は LIXIL 修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥ LIXIL 修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、LIXIL オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・ LIXIL 修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含みます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後 10 年です。電装系部品については製造打ち切り後 7 年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後 2 年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001 にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店または当社お客さま相談センターにご相談ください。

■対象商品…………… インテリア建材商品

■保証期間…………… 施工者よりの引渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)
注1)改修工事の場合、改修部分の工事完了の日とします。
注2)分譲住宅(建売住宅)の場合、建築主さまへの引渡し日とします。

■保証内容…………… 取扱い説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

■免責事項…………… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ②表示された商品の性能をこえた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)またはこれらに伴うサビ、カビなどその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域または場所での腐食および不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、または全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合)
- ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合
- ⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
- ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害
- ⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪お客さま自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑫本来の使用(一般住宅同等の環境下で使用される建築物)の目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店または当社お客さま相談センターにお問合わせください。

株式会社 LIXIL

※商品のお問い合わせ・ご相談のため、メモしておくとお便利です。

■販売店名

TEL ()

■工務店名

TEL ()

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAP-50

事業所コード FFA0

2021.2.1発行

